

令和8年2月26日

令和8年
第1回恵那市議会定例会
施政方針及び提案説明要旨



令和8年第1回恵那市議会定例会施政方針

本日、ここに令和8年第1回恵那市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、御多用中にもかかわらず御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

令和8年度の当初予算案を始めとする関係議案の御審議をお願いするに当たり、市政運営の基本政策及び予算編成方針並びに主要施策について御説明申し上げ、議員並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたく存じます。

(令和8年度市政運営に当たっての基本政策)

平成28年度から始まった「第2次恵那市総合計画」が令和7年度をもって終了することから、次期計画となる「第3次恵那市総合計画」を策定いたしました。令和8年度から始まる本計画は、20年後の2045年を見据えた長期的な視点から市の目指す将来像やまちづくりの目標となる「基本構想」と、基本構想の実現に向けたより具体的な取組を定めた「基本計画」で構成されています。

恵那市の魅力と20年後の理想の姿につきましては、市民の皆様から寄せられたご意見では、「自然との共生」や、「子育てしやすいまち」、「老後も安心してくらするまち」、「便利な公共交通」や「災害への備え」といった声がありました。また、若い世代からは、「産業・観光の発展」や、「まちの活性化」を求める声が多かったことから、恵那市の豊かな自然を守り、活かしながらひととまちが輝く活力あふれるまちの実現を目指そうという願いを込めて、20年後の将来像を「自然とともにひととまちが輝く 活力あふれる恵那」といたしました。

それでは、自然を守り、活かしながら、将来像を実現するための基本施策について、新たな取組を中心に、4つの基本方針に沿って御説明申し上げます。

(基本方針1 未来を担うひとを育む)

基本方針の第1は、「未来を担うひとを育む」であります。

子育て支援につきましては、令和6年度より、「経済的負担への支援」、「よりそう支援」、「子育て環境支援」の3本の柱を掲げ、子育て支援パッケージとして支援に取り組んでまいりました。

令和8年度における新たな施策の一端を申し上げますと、子育てにおける経済的負担への支援として、第2子以降の出産に対し出産祝金を支給するほか、小中学校への入学祝金として1万円を、高等学校就学等のための支援として、中学校3年生の保護者へ6万円を支給いたします。更に、給食費につきましては、市内の市立小学校は完全無償化、中学校は月額2千円とするなど、既に実施しております保育料の無償化を合わせて、子育てにおける経済的負担の軽減を図ってまいります。

こどもの居場所づくりのため、健全な遊びの体験や食事の提供、学習の補助、こども同士の交流の機会の創出に取り組む団体の運営を支援し、サービスの向上を図ってまいります。

妊娠期から就学前まで切れ目のない健診環境を整備するため、これまでの1か月児健診、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診に加え、発達に関する悩みや不安を抱えるこどもが安心して就学を迎えられるよう、新たに5歳児の健診を実施してまいります。

市内のこども園及び小中学校の防犯対策として、防犯カメラの設置や玄関オートロックシステムを整備し、こどもたちが安心して学べる環境を確保してまいります。

乳幼児の睡眠時における窒息の危険を回避するため、0歳児及び1歳児がいるこども園にAIによる見守りセンサーを設置し、こどもたちの生命を守ります。

株式会社ホリプロとの包括連携協定に基づき、演技の手法を活かしたコミュニケーション力や共感力を高める演技ワークショップを学校教育に導入するため、令和8年度は恵那南中学校において実施し、こどもたちの可能性を広げる取組を進めてまいります。

老朽化により改修を行った宮盛座のリニューアルを記念して、恵那の伝統芸能である歌舞伎や獅子芝居公演を開催し、次世代への継承につなげてまいります。

中山道の歴史的価値を高め、観光資源としての活用を推進するため、市道の測量や国への意見具申を行うなど、令和9年度の国史跡指定に向けた取組を進めてまいります。

(基本方針2 安心・健康に暮らせる)

基本方針の第2は、「安心・健康に暮らせる」であります。

医療事故の防止や、待ち時間の短縮を図るため、市内に5つある全診療所に電子カルテシステムを導入します。

オーラルフレイルの早期発見や予防を目的として、法律に基づく20歳から70歳までの10歳毎の方に加え、市の施策として5歳毎の方を対象に歯周病健診を実施してまいりましたが、更に18歳と19歳の方を加え、学校健診後も切れ目なく定期的に検診を実施することにより、市民の皆様の歯と口腔の健康づくりを進めてまいります。

AEDを24時間営業のコンビニエンスストア19店舗に設置することにより、夜間の緊急時における救命率の向上につなげてまいります。

国民健康保険岩村診療所のトイレを改修し、多様な患者の特性に配慮した、誰もが利用しやすい環境を整備してまいります。

老朽化が進む市内4か所の福祉センターにつきましては、恵那市福祉センターあり方検討委員会からの報告書に基づき、福祉センターの快適な利用環境を確保するための移転先の選定に向けた調査を進めるとともに、避難所機能など複合的な機能を有する施設とすることについても検討してまいります。

(基本方針3 安全・快適に暮らせる)

基本方針の第3は、「安全・快適に暮らせる」であります。

ツキノワグマが人里に出没し、危害を加えることを防ぐため、捕獲用の檻を設置するほか、赤外線カメラやドローンの活用のほか、緊急銃猟等の捕獲体制の整備を進めることにより、皆様の安全を確保してまいります。

人口減少や運転手不足などの課題に対応し、地域における移動手段を確保するため、東濃5市と下呂市で構成するコンソーシアムによる自動運転の実証実験を行ってまいりましたが、令和8年度はレベル4での実証実験を実施し、自動運転移動サービスの導入に向けて進めてまいります。

リニア中央新幹線の開業を見据え、市街地環状道路など都市の基盤となる道路整備を進めるとともに、恵那峡スマートICからの観光地アクセス向上や、沿道地域の活性化を図ってまいります。

道路の通行に支障となる樹木について、森林環境贈与税を活用した伐採を行うことにより、緊急時における輸送道路としての機能を確保してまいります。

過疎地域における地域住民主体の地域移送サービスである「いいじ里山バス」と「くしばす」につきましては、駅や病院などへの延伸を希望する声があることから、域外への延伸運行を行い、利便性の向上を図ってまいります。

(基本方針4 活力・魅力を生み出す)

基本方針の第4は、「活力・魅力を生み出す」であります。

物価高騰対策としまして、市民の皆様へ配布させていただく「えーな生活応援券」に続き、プレミアム付き商品券を発行し、切れ目のない消費者支援と市内経済の活性化を図ってまいります。

リニア中央新幹線の開業を見据えた新たな交流人口獲得の拠点づくりに向け、リニア岐阜県駅に近い恵那峡に立地するシアター恵那の活用方法について検討を進めてまいります。

持続可能な地域づくりと地域資源の魅力を発信するため、ふるさと住民登録制度と地域おこし協力隊を活用し、外部人材による地域の担い手確保と、新たな視点によるまちづくりを進めてまいります。

中心市街地における空き店舗対策として、空き店舗ツアー、公共スペースの活用、出店希望者との交流会の実施を支援し、新たな創業・出店につながる基盤を構築してまいります。

車文化を活かしたまちづくりを目指して、5月に開催されるWRC世界ラリー選手権を始めとしたイベントに合わせた特産品の開発や関連イベントの開催により、恵那の魅力を広く発信し、国内外からの誘客と地域振興につなげてまいります。

ドラマや映画のロケ地を活かした認知度の向上と交流人口の拡大を図るため、官民が一体となった「ロケツーリズムえな推進協議会」による市内ロケ地マップの作成や商品開発などにより、ロケツーリズムを推進してまいります。

オリンピックを契機としたポーランド共和国との交流につきましては、ポーランド共和国のアーティストによる市内公演の開催や、中学生による日本美術技術博物館マンガとの交流事業などを実施し、国際感覚豊かな人材の育成を図ってまいります。

(令和8年度予算編成方針)

続きまして、令和8年度の予算編成方針及び予算総額について、ご説明申し上げます。

政府は、我が国が「全国どこに住んでいても安全に暮らすことができ、必要な医療・福祉、質の高い教育を受けることができ、働く場所がある」姿を目指し、強い経済と財政規律の両立を掲げた総額1兆2,230億92億円の令和8年度一般会計予算案を閣議決定しました。その中で、地方自治体の一般財源を交付団体ベースで総額6兆7,078億円、前年度を3兆7,364億円上回る額とし、本市においても安定的な財政運営に必要な地方交付税交付金については、総額2兆1,848億円、前年度を1兆2,274億円上回る額を確保するとしています。

こうした中、本市は令和8年度に第3次恵那市総合計画・総合戦略（恵那市みらいビジョン2045）の開始年度を迎えます。そのため令和8年度予算は、同ビジョンの「未来を担うひとを育む」「安心・健康に暮らせる」「安全・快適に暮らせる」「活力・魅力を生み出す」の4つの基本方針のもと、20年後の将来像「自然とともにひととまちが輝く 活力あふれる恵那」を目指した取組をスタートさせる予算を編成いたしました。

(令和8年度予算総額)

一般会計予算額は、前年度比1.9%、6億1,000万円減の309億4,000万円としました。

歳入につきましては、市税は、固定資産税や都市計画税の増加などにより前年度比0.7%、4,866万円の増収を見込んでいます。また、地方交付税は、昨今の人件費の増や物価高騰に伴う影響を加味し4億5,000万円の増収を、寄附金においてはふるさとえな応援寄附金にて1億円の増収を見込んでいます。

歳出につきましては、令和7年度までに行った恵那南中学校整備事業や中学校屋内運動場空調設備設置事業などの完了に伴い、予算規模は縮小となりましたが、更なる子育て支援事業の拡充や、新たな技術を活用した市民サービスの展開、リニアを始めとした基盤整備など、市民生活の向上と市の発展・成長を両立させた予算としております。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計は保険給付費の減少により前年度比7.6%、3億9,100万円減の47億4,140万円、介護保険事業特別会計は介護給付費の減少により前年度比1.2%、7,800万円減の62億7,210万円、後期高齢者医療特別会計は被保険者の増加により前年度比15.5%、1億4,630万円増の10億9,040万円など、全体では前年度比2.6%、3億2,270万円減の121億520万円としました。

企業会計では、下水道会計の資本的支出が、浄化センター耐震化・設備更新工事費の減などにより前年度比31.2%、4億3,240万円減、病院事業会計の資本的支出がMRIを始めとした医療機器の更新等により前年度比29.9%、2億4,010万円増、国民健康保険診療所事業会計の資本的支出が電子カルテの導入や山岡診療所における婦人科開設などにより前年度比100%、4,940万円増など、全体では前年度比0.5%、4,540万円増の91億7,060万円としました。

<令和8度の予算総額>

○一般会計	… 309億4,000万円	(前年度比	△6億1,000万円)
○特別会計	… 121億520万円	(前年度比	△3億2,270万円)
○企業会計	… 91億7,060万円	(前年度比	+4,540万円)
合計	522億1,580万円	(前年度比	△8億8,730万円)

次に、先程申し上げました施策に加え、「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の4本の柱の取組につきまして、御説明申し上げます。

始めに「はたらく」につきましては、恵那西工業団地の第2期造成に向けた基本設計に着手し、瑞浪恵那道路、リニア中央新幹線の効果を最大限に活かした企業誘致や本社機能移転を促進してまいります。

第4次恵那市障がい者計画の基本理念である「共に生きる社会（共生社会）の実現」の具現化に向け、外出・移動が困難な重度障がい者などの就労を支援し、社会参加できる仕組みを整備してまいります。

外部専門家である地域力創造アドバイザー制度を活用し、地域団体の経営力強化や人材育成を支援することにより、持続可能な観光地づくりを推進してまいります。

持続可能な林業振興の仕組みを構築するため、修学資金の貸付制度を創設するほか、補助金を活用した森林整備により、将来の担い手の確保と森林資源を活用した取組を推進してまいります。

「たべる」につきましては、学校給食の市内農産物使用率向上を目指し、農家と学校給食などをつなげる地消地産コーディネーターを配置するとともに、県との連携によるコーディネーターの活用を検討してまいります。

恵那市の伝統的な郷土料理である朴葉寿司や五平餅を始め、栗菓子や地酒など、食文化を活かした地域経済の活性化を推進してまいります。

発酵食品の販売拠点の整備や全国モンブラン大会の開催を支援し、「食」の魅力を広く発信してまいります。

「くらす」につきましては、市立恵那病院における婦人科の受診者数の増加に伴い、新たに国民健康保険山岡診療所に婦人科を開設いたします。

高齢化などにより、ごみ出しの支援を必要とされる方が増加する中、訪問介護事業所の介護士がいつでもごみを搬入できる回収ボックスを設置いたします。また、市民、事業者、行政が協働でごみについて学び、考え、伝える「恵那環境みらいらぼ」を整備し、ごみの減量化と資源化を促進してまいります。

防災意識の向上と安全な避難行動を支援するため、地域特性に応じた自然災害リスクや避難情報を可視化したデジタルハザードマップを作成するとともに、紙によるハザードマップを市内全戸に配布いたします。

リニアまちづくり構想につきましては、策定から12年が経過し、社会情勢などが大きく変化していることから、岐阜県のグランドデザインを踏まえ、リニア中央新幹線開業後の恵那のまちをイメージしていただけるような、新たな構想としてアップデートしてまいります。

DXを活用し、視覚障がい者や外国人住民など文字による情報の取得が困難な方に対して、インターネットラジオを活用した新たな情報配信手段を構築するほか、外出が困難な方への買い物支援の実証事業を実施します。更に、マイナンバーカードを活用した市民税の電子申告や、オンラインで出生届を提出することができるサービスを開始し、行政手続きのオンライン化を推進してまいります。

「まなぶ」につきましては、4月に開校する恵那南中学校へ通学する生徒へのスクールバス16路線の運行を開始するとともに、恵那西中学校へ通う久須見地区の生徒がスクールバスを利用できるよう路線変更を行います。また、南地区の中学校統合に伴い整備した地域教育拠点「まなびルーム」を活用し、こどもたちが自由に利用できる自主学習の場として提供してまいります。更に、統合後の跡地につきましては、地域の皆様の声を踏まえた活用方法の検討を進めてまいります。

築55年が経過した長島小学校につきましては、再整備に向けた長島小学校あり方検討委員会での検討と候補地の適地調査を進めてまいります。

休日における中学校部活動の地域展開に伴い、認定する地域クラブに対して補助金を交付し、運営を支援してまいります。また、令和9年の国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会開催を支援し、スポーツの魅力発信とスケート人口の増加を図ってまいります。

恵那南地区の中学校統合につきましては、平成26年の恵那南地区中学校あり方検討委員会での検討開始から12年を経て、恵那南中学校として開校を迎えることとなりました。これまで御尽力を賜りました関係の皆様にご改めまして感謝と御礼を申し上げますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上、令和8年度の市政運営における所信の一端を申し上げます。これまでの「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の取組に加え、新たに掲げた4つの基本方針に基づく施策に重点を置き、恵那市の更なる発展を目指してまいりますので、議員及び市民の皆様のご御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

(令和8年第1回恵那市議会定例会提案説明要旨)

次に、議案の提案理由について概要を説明させていただきます。

本定例会に提出した議案は、合計45件です。

承第1号専決処分の承認は、令和7年度恵那市一般会計補正予算を専決処分したことについて、議会の承認をお願いするものであります。

議第1号は、条例の制定について、議第2号から議第16号までは、条例の一部改正について、議第17号は、財産の処分について、議第18号は、和解及び損害賠償の額を定めることについて、議第19号から議第21号までは、市道路線の廃止・認定・変更について、議第22号は、恵那市過疎地域持続的発展支援計画を定めることについてであります。

議第23号から議第26号までは、人権擁護委員の任期満了に伴い、柘植美幸（つげみゆき）氏、瀬瀬佳恭（こうけつよしやす）氏、高津典生（たかつのりお）氏、平林和美（ひらばやしかずみ）氏を候補者に推薦することについて、議会の意見を求めるものです。

議第27号から議第34号までは、令和7年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計の補正予算であり、一般会計補正予算では、全体で7億1,165万6千円の増額補正を行い、一般会計の歳入歳出総額を356億5,660万7千円とし、特別会計補正予算では、全体で530万3千円の増額補正を行い、特別会計全体の歳入歳出総額を127億201万9千円とするものです。企業会計では、全体で2億9,830万8千円の減額補正を行い、企業会計支出総額を89億2,212万1千円とするものです。

議第35号から議第44号までは、令和8年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計に係る予算について議決をお願いするものです。

以上で提案説明を終わりますが、詳細につきましては担当部長などに説明をさせていただきますので、よろしく御審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年2月26日

恵那市長 小坂 喬峰